

「ひろさき交通まち育てコンソーシアム」の設立について

市民・住民が主体となった多様性あふれる交通への参加に向けた仕組みづくり

弘前大学大学院/H・O・T Managers代表 大野悠貴

◆ 設立の背景

ミッションとビジョン

ミッション

- 市民・住民の社会的責任として、まちづくりへの参画が求められている
- まちづくりに関して知る『場』、まちづくりを経験する『機会』がない
- 市民・住民にとって、**地域交通は縁遠く、関わりづらく、無関心**

ビジョン

- 市民・住民が“地域のお出かけの足”について主体的に考える

★ モデルケースとしてH・O・T Managersの大学生による自発的MM活動の実践

✕ 公共交通のために！ ○ 情報誌をつくりたい、就職活動で有利、等

▶ 個人的な理由・私利私欲からはじまる地域交通との関わり

コンセプト

交通まち育てのプラットフォーム

窓口

- 市民と行政・事業者の仲介役
- 市民が気軽に相談できる環境づくり

受け皿

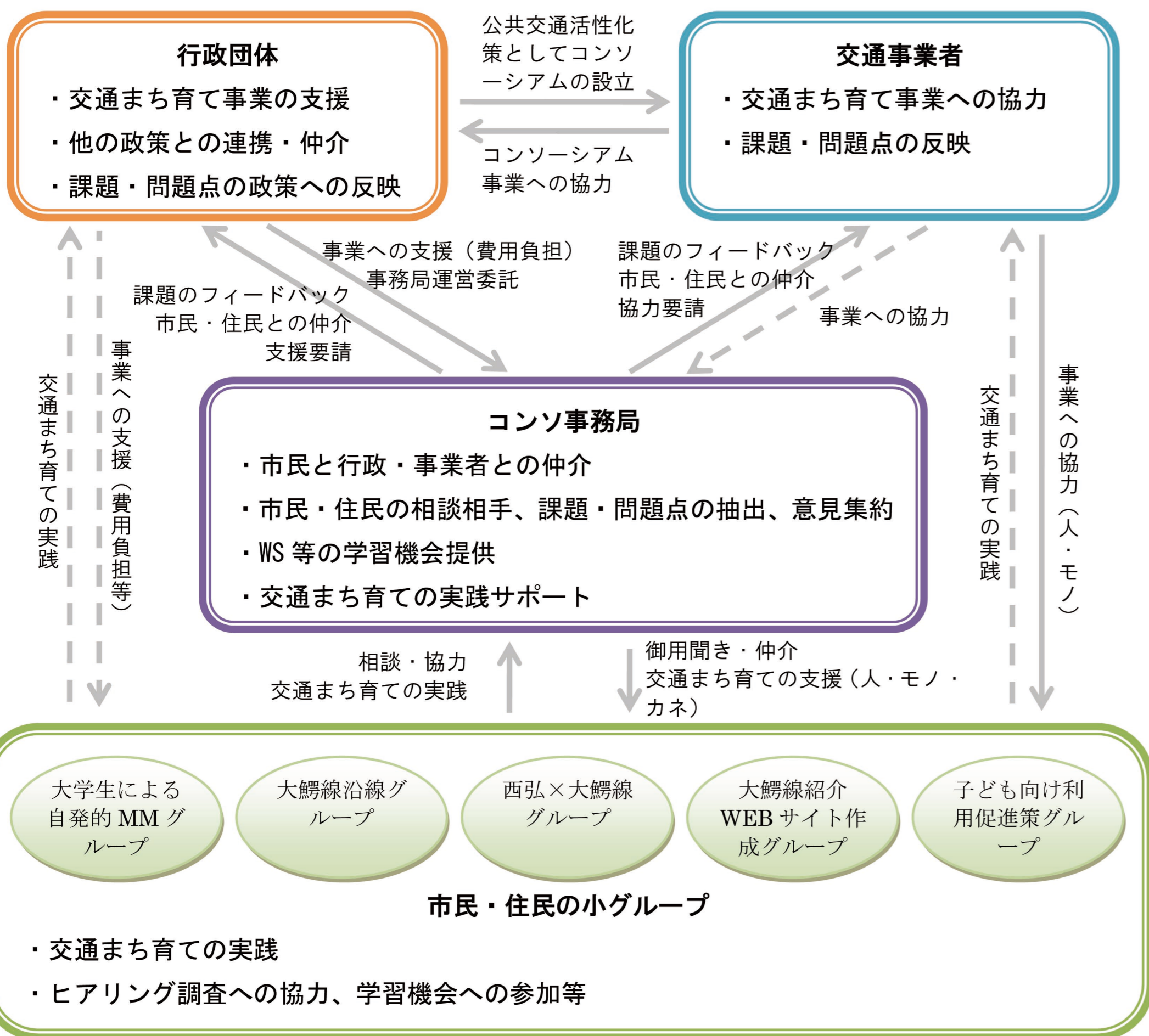
- 市民・住民による交通まち育ての実行委員会的な役割、サポート・仲介

「交通まち育て」とは

人々が公共のため、公共交通のためなどと、大上段に振りかぶっていくのではなく、自分の周りの身近な空間への想いやこだわりを大事にして物事を進めることが、結果的に共同性を醸し出すような交通との関わり方のこと。

◆ 取り組みの内容

コンソーシアムの構成イメージ



実施するプロジェクトの概要 (予定)

ご用聞き事業

- 地域の各種集まりや会合に出向き、地域の状況や課題、公共交通に対する意見を集約
- コミュニケーションを重ねていく中で、交通まち育ての実践へとつなげる

交通まち育て事業

- 情報誌・ガイドブック
- 電車・バスの乗り方教室



- 市民・住民が主体となった利用促進策

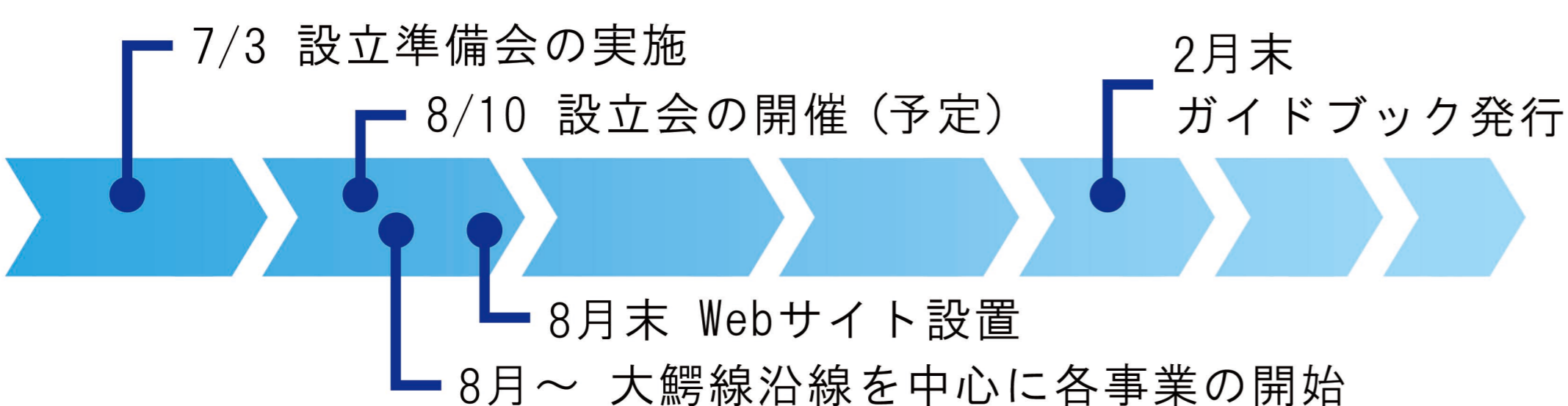
★ 弘前バル街での鉄道乗車券配布と駅ナカシールドルパブ事業 (7/4)

- 鉄道事業者×地元商店街・企業×大学生
- 駅舎の空きスペースをリノベーションし、電車の待ち時間の有効活用策を提示



◆ 今後の進行

- 本年度は弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会の事業として



- 各事業の中でMMの考え方を一つの拠り所として活用
ex. ご用聞き事業でTFPの活用
- 本年度弘南鉄道大鰐線を中心に実施される従来型の行政主導MMにも相乗効果が期待される
- 次年度はバス路線にも対象を拡げ、継続的運用を目指す